

厚生労働科学研究費補助金

分担研究報告

外来化学療法中の患者支援体制に関する検討

～看護師の立場から～

研究分担者 黒柳 貴子 聖路加国際病院 オンコロジーセンター 看護師

研究分担者 宮尾 桜 聖路加国際病院 内科外来・消化器センター 看護師

研究要旨

聖路加国際病院オンコロジーセンターにおいて行われている外来化学療法に關与している看護師 32 名を対象として、外来化学療法中の患者支援体制に関するアンケート調査を行った。外来化学療法中の患者から問い合わせを受けたことがある看護師は 29 名(91%)と多く、そのうち 19 名(66%)は電話での問い合わせであった。頻度は比較的高く、連日電話対応をしている看護師は 19 名中 7 名に上った。内容は体調に関すること、服薬に関することが多く、看護師のみ、または医師と相談して電話のみで対応していたが、対応に苦慮した症例も認められた。定期受診日以外の受診の頻度も比較的高く、ほとんどは体調が原因であった。定期受診日に相談を受けたことのある看護師は 20 名(62.5%)と多かった。さらに、相談内容にはすぐに対応した方が良かったものが含まれており、判断に迷う場合の対処方法や緊急連絡先を整備する必要性が考えられた。

A. 研究目的

近年、がん化学療法は外来での通院治療が主になってきており、社会生活との両立が可能な治療として確立してきている。治療の継続には患者自身のセルフケア能力を高める支援が必要であると共に、緊急時の連絡・対応が可能な体制の整備も必要である。そこで、聖路加国際病院において外来通院で抗がん剤治療を行う患者に対する看護師の立場からの支援体制の現状を把握し、対応の問題点を明らかとするために、外来化学療法を行う医師に横断的観察研究として、アンケート調査を行った。

B. 研究方法

聖路加国際病院オンコロジーセンターにおい

て行われている外来化学療法に關与している薬剤師を対象として、横断的観察研究として 2013 年 2 月の 1 か月間にアンケート調査を施行した。対象選択基準は(1) 聖路加国際病院オンコロジーセンターにおいて行われている外来化学療法に關与している薬剤師、(2)口頭による同意が得られている、(3)日本語で記載された質問紙を読むことができる、とした。選択基準を満たす医療従事者に対しては、口頭で同意を得たうえで、アンケート用紙を渡し、医療従事者はアンケート用紙の提出を持って同意とした。

<倫理面への配慮>

アンケート用紙には、個人名は記載せず、診療科、性別、年齢(年代)のみの記載とし

た。また、結果は研究目的以外に使用することはない。臨床研究計画書を作成し、当院の臨床倫理審査委員会の承認を得て実施した。

C. 研究結果、進捗状況

アンケートの回収数は32名であった。全看護師が女性であった。化学療法中の患者からの問い合わせに対応している看護師は29名(91%)と多く、そのうち19名(66%)は電話での問い合わせであった。頻度は比較的高く、連日電話対応をしている看護師は19名中7名に上った。内容は体調に関すること、服薬に関することが多く、本人のみ、または意思と相談して電話のみで対応していることが多かったが、対応に苦慮した症例も認められた。定期受診日以外の受診の頻度も比較的高く、ほとんどは体調が原因であった。定期受診日に相談を受けたことのある看護師は20名(62.5%)と多く、頻度も週1回以上がほとんどであった。さらに、相談内容にはすぐに対応した方が良かったものが含まれており、判断に迷う場合の対処方法や緊急連絡先を整備する必要性が考えられた。

その他、患者が病院に電話連絡などの問い合わせをしてくる目安の整備や対応できる十分な人員の配置が必要であるという意見が記載された。

D. 考察

外来化学療法では、治療に関連して体調の変化が生じたり、内服に関連して判断に迷ったりする状況が多く考えられる。例えば、体調変化としては、発熱、頭痛、嘔気、嘔吐など、内服に関連して判断に迷う状況としては、内服後の嘔吐、嘔気や嘔吐のための服薬困難、食事摂取困難時の服薬、内服忘れの場合の対応、過剰内服の場合の対応、頓用薬内服方法

などがあげられる。想定可能な状況については、あらかじめ指導することが可能であるだけでなく、対処方法に関していつでも閲覧可能なマニュアルを整備したり、緊急連絡先を整備したりすることにより、外来化学療法中の患者の支援体制を充実させることができると考えられ、その必要性和重要性が明らかとなった。また、看護師が、患者に最も寄り添い、親近感のあり、最も連絡しやすい医療スタッフである可能性が考えられ、看護師間で患者教育や支援に関する情報共有も必要であると考えられた。さらに、このような相談に十分に対応できる看護師の人員確保も重要であると考えられた。

E. 研究発表

1. 論文発表

該当なし

2. 学会発表

(研究分担者：黒柳貴子)

1. 黒柳貴子、中野絵里子、扇田信、宮尾桜、小田ちひろ、石丸博雅、細谷要介、北野敦子、玉橋容子、大島久美 アンケート調査から見えて来た外来化学療法時の患者支援体制の在り方 第11回日本臨床腫瘍学会総会 2013年8月 仙台

(研究分担者：宮尾桜)

1. 宮尾桜、黒柳貴子、大島久美 外来化学療法中の患者からの電話相談に関する検討 第11回日本臨床腫瘍学会総会 2013年8月 仙台

F. 知的財産権の出願・登録状況

該当なし

